

平成 24 年 8 月 6 日

各位

上場会社名 株式会社アーレスティ
 代表者 代表取締役社長 高橋 新
 (コード番号 5852)
 問合せ先責任者 執行役員経営企画部長 辻 鶴男
 (TEL 03-5332-6004)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 5 月 14 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 25 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	53,500	1,500	1,350	850	39.42
今回発表予想 (B)	52,400	500	150	△200	△9.27
増減額 (B-A)	△1,100	△1,000	△1,200	△1,050	
増減率 (%)	△2.1	△66.7	△88.9	△123.5	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	47,577	△421	△470	△547	△25.39

平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	112,500	3,750	3,350	2,400	111.29
今回発表予想 (B)	111,000	2,250	1,600	800	37.10
増減額 (B-A)	△1,500	△1,500	△1,750	△1,600	
増減率 (%)	△1.3	△40.0	△52.2	△66.7	
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	103,800	1,366	888	1,420	65.87

平成 25 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	34,200	350	400	350	16.23
今回発表予想 (B)	34,900	250	300	250	11.59
増減額 (B-A)	700	△100	△100	△100	
増減率 (%)	2.0	△28.6	△25.0	△28.6	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	34,790	△128	△40	△39	△1.85

平成 25 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	71,500	1,200	1,300	1,200	55.65
今回発表予想 (B)	72,300	1,200	1,300	1,200	55.65
増減額 (B-A)	800	—	—	—	
増減率 (%)	1.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	74,521	100	258	1,258	58.38

修正の理由

国内では、売上高は当初予想を上回る見込みであるものの、高負荷に伴うロス等により減益となる見通しです。また、東海工場集約に伴う一時的な費用が当初予想よりも先行することにより個別の第 2 四半期累計期間では減益となる見通しですが、通期で当初予想通りとなる見込みです。なお、東海工場の集約については、来春の完了予定で計画通り進めております。

海外では、中国及びインドの売上高は、前期比で各々 1.4 倍、1.6 倍と大幅に増加する見込みであるものの、当初予想より売上高が減少することに伴う固定費負担の増加により当初予想よりも減益となる見通しです。また、北米ではメキシコにおける前期の生産対応の遅れによる費用発生が解消されたものの、製品ミックスによる付加価値の減少が見込まれるため当初予想よりも減益が見込まれます。

今後、更に生産性の向上を行い収益力の確保に努めて参ります。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上